



▲本田良太 氏

1.はじめに

JA越後中央は新潟県のほぼ中央に位置し、新潟市の一部、燕市、弥彦村の2市1村からなっており、日本海を望む美しい海岸線と越後の美山弥彦山・角田山、その麓に広がる新潟平野や信濃川など豊かな自然と水源に恵まれています。

管内では、その恵まれた立地を活かして稲作をはじめ、枝豆、やわ肌ねぎ、西瓜、柿、西洋梨、日本梨、チューリップ等の切花などが生産されています。

2.「弥彦むすめ」

当センターは、弥彦山脈にある越後一ノ宮の彌彦神社の麓、温泉郷などの観光資源に恵まれた場所に位置しております。

昭和40年頃から稲作の転作として本

格的にエダマメの栽培指導が始まりました。新潟県内のエダマメ出荷トップをきる「弥彦むすめ」は長い年月、苦勞を厭わず、工夫を続けてきた生産者の方々の努力で、ゴールデンウィーク明けからの出荷が可能となり、市場や消費者の方からも高い評価をいただいております(写真1)。

3.雪印種苗(株)との取り組み

2年前から試作に取り組んでいる雪印種苗(株)の「味風香」は、香りと味わいが豊かで早生品種の中では草丈が高く、節数も多いので収量が安定しています。

莢色がやや淡く収穫期間が短いように感じますが、一回の播種量を3日程度で収穫できる面積にするなど、計画的な播種を行う事で十分対応できると思います。

当センター内で行った試食会でも、エダマメの味に拘る職員から「美味しい」との評価を得ており、「弥彦むすめ」以降のトンネル栽培で有望な品種であると考えています(写真2、写真3)。

雪印種苗(株)の品種では他に「味太郎」という茶豆の中早生品種を栽培しており、昨年は更なる栽培技術向上のため、雪印種苗(株)の千葉研究農場で視察研修を行いました。

4.おわりに

長年培ってきた栽培技術や鮮度保持の工夫に加え、こうした新品种への取り組みや研修を行う事で産地としての力を高め、より多くの方に美味しい枝豆を食べていただけるよう努力を続けていきたいと思ひます。



▲写真2 味風香のトンネル栽培



▲写真1 弥彦むすめ出荷風景



▲写真3 弥彦で行われた品種説明会(味風香)